

ほうでえ～

ありゃ～のう

周防大島町の話題

▶ たくさんの餅がまかれました



たくさんの餅がまかれました — 第9回周防大島まるかじり —

2月15日、周防大島まるかじり実行委員会主催による第9回周防大島まるかじりが、旧日良居中学校周辺において開催されました。

今年は飲食バザーや軽トラ市場のほか紅白餅合戦とテーマを決め、4回に別けて1万個の餅がまかれました。

またイベントの最後には恒例となっている、みかん鍋の振舞いも行われ、今年は寒い時季での開催ということで、集まった人々はあつあつの鍋をほお張り、心も体も温まりました。



▲恒例のみかん鍋の振る舞いでは、長い行列ができました。

間伐材を燃料にします

▶ 遊湯ランドに導入されたペレットボイラー



新たに地域おこし協力隊員着任

2月2日、大島庁舎において地域おこし協力隊員へ委嘱状が交付されました。

町では、地域資源を生かした観光振興に取り組んでもらうため地域おこし協力隊員を公募し、このたび兵庫県から鷹取欽之ただゆきさんが着任しました。平成25年2月に着任した三浦宏之さんに続き2人目の地域おこし協力隊員となります。

鷹取さんは「インターネットなどを利用し、周防大島町の知名度を上げていきたい。」と意気込みを話してくれました。

片添ヶ浜温泉遊湯ランドのボイラーがペレットボイラーに切り替わり、2月7日から営業を再開しました。遊湯ランドは以前の重油ボイラーが老朽化し、1月13日から2月6日まで工事のため休業していました。ペレットボイラーは二酸化炭素排出を削減し、環境にやさしいボイラーで、燃料は県産のスギなどの間伐材で作られる木質ペレットを使用するため、エネルギーの地産地消につながります。